



# 委員会で詳しく審査しました



～令和6年第4回定例会中に審査した内容は下記のとおりです～

## 総務委員会

議案3件、陳情1件を審査しました。

**稲城市個人情報番号及び特定個人情報に関する条例**は、3件の質疑があり、概要は次のとおりです。

**問** マイナンバーの独自利用事務に心身障害者の医療費の助成に関する事務など4つの事務が追加されたことにより、どういった効果があるのか。

**答** 転入した自治体でサービスを受ける際に必要としていた所得証明の添付書類を無くすなど、市民の利便性向上につながる。また、行政事務において、必要な情報を情報連携で入手できるため、事務の効率化が可能となるほか、適正な事務の実施にも資するものである。

**問** どのような安全管理措置を図っているのか。

**答** 人的対策として、マイナンバーを扱う職員に対して毎年度研修を実施し、物理的対策として、マイナンバーの記載された書類は施錠管理し、技術的な対策として、インターネット環境とマイナンバーを扱うネットワークを分離し、必要な対策を講じている。

**問** 心身障害者医療費助成事業において、紙の保険証や資格確認書の運用、扱いはどのようにになるのか。

**答** 情報連携を基本とするが、資格確認書、有効期限内の保険証をそのまま保険情報の確認として扱えるということ周知しており、今までどおり紙の保険証なども手続きはできることになっている。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**稲城市情報通信技術を活用した行政の事務等の推進に関する条例の一部を改正する条例**は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**稲城市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**は、2件の質疑があり、概要は次のとおりです。

**問** 東京都人事委員会からの勧告の内容については。

**答** 例月給は、民間企業との較差1万595円、2・59%を埋めるために、初任層に重点を置きながら、全級全号給の給料表を引き上げている。また、特別給は、0・2か月分の引上げをしている。

**問** 常勤職員の給与改定が行われた場合は、それに準じて会計年度任用職員の給与改定も行うべきであるというような総務省の通知についての認識は。

**答** 国からの通知は、常勤職員の給与に準じてということである。市は精いっぱい会計年度任用職員の分も精査して取り組んでおり、国は技術的助言と申し添えているので、あくまでも市の判断、実情で給与改定は行わせていたきたい。引き続き、会計年度任用職員の給与については丁寧に進めていきたい。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**指定管理者及び開発道路の疑義説明を求める陳情**は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立なしにより不採択と決定されました。

## 建設環境委員会

議案7件を審査しました。

**稲城市道路線の認定について(稲城南山東部土地区画整理事業関係・7路線、稲城市道路線の廃止について)**は、議案審査のため現地調査を行った後、一括議題として審査し、質疑・討論がなく、採決の結果、いずれも起立全員により原案のとおり可決されました。

**稲城市市税条例の一部を改正する条例**は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**稲城市手数料条例の一部を改正する条例**は、2件の質疑があり、概要は次のとおりです。

**問** 証明書交付などについて、オンライン申請の導入による、現状との比較と効果は。

**答** 市役所に出向く必要はなくなりつつもどこでも申請できるところ、クレジットカード払いなど支払いが簡便になる

**問** 証明書の交付などについて、オンライン申請の導入による、現状との比較と効果は。

**答** 市役所に出向く必要はなくなりつつもどこでも申請できるところ、クレジットカード払いなど支払いが簡便になる

ところ、コンビニ交付と比べて対象の証明書が増えるところの3点のメリットがある。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**稲城市公共施設駐車場の管理に関する条例の一部を改正する条例**は、5件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。

**問** 上谷戸親水公園駐車場を有料化することだが、なぜこのタイミングなのか。

**答** 坂浜自治会が指定管理者となり公園と体験学習館と駐車場を運営・管理していることから、これまで有料化から除外していた。市は令和7年度に市立公園駐車場の設備の一斉更新を予定しており、坂浜自治会も利用者負担の適正化、駐車場の適正利用は必然と了解しているため、有料化に向けた条例改正案を上げするものである。

**問** 費用対効果の認識は。

**答** 公園駐車場の費用対効果は、1か所だけなのでなく、全体として考えている。

**問** 上谷戸親水公園第2駐車場は、原則体験学習館利用時のみとされているが、有料化に伴い制限もなくなるのか。

**答** その制限はなくなる。

## 補正予算特別委員会

議案6件を審査しました。

**令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第6号)**は、19件の質疑があり、概要は次のとおりです。

**問** 職員の給与改定について、市民サービスの維持や向上への効果は。

**答** 人材確保の観点から、初任層に重点を置いた引き上げにより、安定した市民サービスを継続できると考えている。

**問** 市町村総合交付金の内容は。

**答** 都の補正予算で、全ての市町村が学校給食の無償化を実施できるように、国が無償化について、自らの責任で実施するまでの間、特別的に市町村の一般財源を補完するために増額したことを受け、令和7年1月から3月までの期間において、学校給食の無償化に取り組みするための財源として計上した。

**問** 学校給食共同調理場のガス料金補正の理由は。

**答** ガス料金の従量単価が上昇し、猛暑の影響で空調稼働時間が増加して、予定よりもガスの使用が多くなった。

**問** 保育所等物価高騰緊急対策事業補助金の対象施設と補助内容は。

**答** 私立認可保育所17園、幼保連携型認定こども園1園、無料にすべく、誰でも公園を利用しやすくすべくと考え、反対する。

企業主導型保育事業2施設、事業所内保育事業1施設は、1施設当たり月額1万4000円を補助する。

**問** 教育交流支援業務委託について、目的と概要は。

**答** 児童・生徒の英語力の向上や外国の文化に対する理解を深めることを目的に、外国自治体と教育交流協定を締結し、オンラインヒアリング会議ツールなどを活用した教育交流を行う。

**問** 保育所等物価高騰緊急対策事業補助金の補正の概要は。

**答** 都の10分の10の補助事業を活用して、市内の保育所などに対し、食料費および光熱費の物価高騰対策として補助を実施し、運営事業者を支援する。

**問** 教育指導に関する経費の委託料の内容は。

**答** 教育交流協定に関する候補地の選定、交渉および手続き業務を包括的に委託するもので、55万円を計上している。

**問** 公有財産購入費の土地購入の経緯は。

**答** 生産緑地に相続が発生し、市に買取り申出が提出され、市では稲城第二小学校用地として買い取ることに決定した。買取り申出者が、相続の関係で、早期の売買を希望していたことから、稲城市土地開発公社による先行買取りを行い、今般、学校の増築に合わせて当該用地を買戻したいという経過である。

**問** 都の下水道強靱化事業補助金について、目的や採択の条件は。

**答** 市町村が整備する雨水施設などのスピードアップおよびレベルアップに対し支援するもので、南山東部地区は稲城市公共下水道計画の降雨強度を上回る貯留量を備えていることから、支援の対象となった。

**問** 下水道強靱化事業補助金が承認された理由は。

**答** 目標整備水準を超える75ミリ対応の調整池を整備するなど取り組みが先駆的な事例であることから、強靱化事業として採択された。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**令和6年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)**は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**令和6年度東京都稲城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)**は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。

**問** 過年度還付金および還付加算金について、当初予算と補正予算の積算の考え方は。

**答** 当初予算は、4年分の平均値で積算しており、本補正予算は、執行済み額に加え、亡くなられた被保険者のご遺族からの未手続分などを見込んだ積算となっている。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

**令和6年度東京都稲城市土地画整理事業特別会計補正予算(第1号)**、**令和6年度東京都稲城市下水道事業会計補正予算(第1号)**は、いずれも質疑・討論がなく、採決の結果、いずれも起立全員により原案のとおり可決されました。



# 委員会視察を市政に活かす

～市民生活に深く関わる課題について先進事例の調査研究を行いました～

## 福祉文教委員会

**視察日** 令和6年10月9日(水)～11日(金)

**視察地** 大分県杵築市・宮崎県日向市・宮崎県延岡市

**視察目的** 「8050問題について」の調査研究を進めるため、杵築市、日向市、延岡市の先進的事例を視察する。

**調査概要** **杵築市**：全世代支援センター「まるっと」を社会福祉協議会に委託し、多くの専門職により適切な支援につないでいる。市と社会福祉協議会との連携が一体的に進められている点は、当市に類似しており、重要であると改めて認識した。

**日向市**：包括的な支援体制を構築するため、住民にとって身近な圏域で地域力を強化する、多機関が協働し課題解決できる相談支援体制をつくる。日向市地域福祉コーディネーター連絡会「おせっ会」および地域福祉サポーター連絡会「がむしゃら応援団」などについて確認を行った。

**延岡市**：市民からの様々な相談に一括して対応するワンストップ総合相談機能を持つ「なんでも総合相談センター」について、事業実施に至った経緯や事業内容、体制などについて確認を行った。

### 杵築市



### 日向市



### 延岡市



## 総務委員会

**視察日** 令和6年11月5日(火)～7日(木)

**視察地** 兵庫県神戸市・愛知県大府市(防災センター)・静岡県島田市

**視察目的** 「避難所運営の諸課題について」の調査研究を進めるため、神戸市、大府市、島田市の先進的事例を視察する。

**調査概要** **神戸市**：避難所混雑情報アプリの導入、男女共同参画の視点による避難所運営、要援護者名簿登録率向上のための条例改正、ペットとの避難ガイドライン作成と訓練実施などを確認した。平時より各所の意見を聴取し、大都市でありながら、柔軟で実効性のある災害対応が可能な体制づくりに注力していることが分かった。

**大府市**：市の防災学習センターを活用した意識啓発、大学との共同実施による防災ワークショップ開催、LPガス災害対応バルクによる燃料確保策などを確認した。東海豪雨の経験により、日頃からの防災意識向上に力を入れ、南海トラフ地震も視野に入れた災害対策に取り組んでいることがわかった。

**島田市**：自主防災組織を中心とした避難所運営体制の構築、避難生活支援リーダー・サポーター研修の実施、トイレカーの導入などを確認した。自主防災組織が中心となって避難所の管理運営を行うことで、地域の事情・特性にあった運営を可能とし、災害支援拠点として支援物資などの供給をスムーズに行う体制づくりをしていることが分かった。

### 神戸市



### 大府市



### 島田市



## 建設環境委員会

**視察日** 令和6年11月6日(水)、7日(木)

**視察地** 広島県広島市・岡山県岡山市

**視察目的** 「市内公園の管理運営について」の調査研究を進めるため、広島市、岡山市の先進的事例を視察する。

**調査概要** **広島市**：ひろしまゲートパークのコンセプトと整備経過、計画過程で出された市民からの要望・意見、Park-PFIの導入経過・導入効果などについて確認し、ひろしまゲートパークを視察した。ベースに「ひろしま都心活性化プラン」というビジョンがあること、Park-PFI制度と指定管理者制度を併用した運営が非常に効果的であること、イベントの開催や地域住民や観光客の交流の場として活用されていることなどが分かった。

**岡山市**：公園リニューアル工事の経過と市の方針、天然芝導入の経緯と予算、まちなかウォークアブル推進事業などについて確認し、下石井公園を視察した。岡山駅と旧城下町をつなぐウォークアブルシティを目指していること、人工芝設置の効果検証により芝生化の方が利用者が増えることを実証したこと、子どもたちが遊ぶ場所や家族連れがリラックスできるスペースとして機能していることなどが分かった。

### 広島市



### 岡山市



# 一般質問

本定例会の11月29日から4日間にわたり、19人の議員が市政について55項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、1人1項目のみ掲載しています。なお、その他の質問項目については、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

## 稲城中央公園総合体育館西駐車場の混雑緩和について



池田 議員

**問** 総合体育館西駐車場(以下、西駐車場)の収容台数および令和5年度の平日、土曜日・日曜日の1日当たりの平均駐車台数は。

**答** 西駐車場の収容台数は195台、令和5年度の1日当たりの平均駐車台数は、平日は337台、土曜日は458台、日曜日は488台となっている。

**問** 西駐車場の混雑緩和の対応策として、入出庫のための駐車場機器を時間短縮につながる最新の機器に更新していくことも考えられるが市の認識は。

**答** 西駐車場の駐車場機器をカメラで車両ナンバープレートを読み取る車番認証方式などへの更新や、精算機の配置を見直すことも、対応策であると認識している。

ている。現在、市では、令和7年度中の老朽化に伴う駐車場機器の更新とキャッシュレス決済の導入などに向けて、公募型POポータル方式による駐車場運営管理受託事業者の選定を進めている。

**問** 今後の選定作業の予定は。

**答** 12月上旬に優先交渉権者を決定し、12月中旬に契約締結に関する覚書を交わし、令和7年4月1日から設備の更新作業に着手する予定である。

**意見** そういった機械が導入されて、今よりはスムーズにいくことを期待したい。また、利用する団体である各競技団体にも努力が必要だと思つので、私もスポーツ協会の一員として、しっかりと訴えていきたい。

## 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業及び賑わいの創出や高架下利用について



川村 議員

**問** 進捗状況については。

**答** 現在、南口駅前広場の整備に向けて、関係権利者と移転交渉を進めるとともに、交通管理者である警視庁と設計協議を進めている。また、事業の進捗に合わせて、駅前広場に隣接する25街区の一部を除く方々と、賑わいの創出が図られるよう、土地活用に関する懇談会を開催している。

**問** 高架下利用については、既にぬれずに利用できるスペースとして利用価値が高く、現在もシェアショップやイベントスペースなどとして利用しているが、まだまだ未利用地が多いと感じる。更なる活用を考えたもらいたいが、今後の予定は。

**答** 市では、駅周辺の住民をはじめ、地域の利便性向上や活性化が図られるよう、これまでJR東日本に対して要望してきたが、引き続き早期の利活用が図られるよう申入れをしていく。

**問** 関係権利者と移転に向けた協議を進め、早期に駅前広場の

## 「はじめての100か月の育ちビジョン」についての稲城市の認識と今後の取組について



村上 議員

**問** 令和5年12月22日に「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめての100か月の育ちビジョン)」が閣議決定された。幼児期までのこどもの育ちの5つのビジョンについては。

**答** こども基本法の理念のつとめとして、1つ目「こどもの権利と尊厳を守る」、2つ目「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める、3つ目「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える、4つ目「保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする」、5つ目「こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す」としている。

**問** 2つ目の「安心と挑戦の循環」では、「アタッチメント」と豊かな遊びと体験が挙げられているが、市の認識は。

**答** 「アタッチメント」は、不安な時などに身近な大人が寄り添うことなどにより、安心の土台を獲得すること。豊かな「遊びと体験」は、身近なものとの出会い・関わりにより、興味・関心に合わせた「遊びと体験」を保障し、挑戦を応援することと認識している。



▲「はじめての100か月の育ちビジョン」のパンフレット(抜粋)  
出典:「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」(こども家庭庁ホームページ(参照 令和7年2月3日))

## 誰一人取り残されない学びの多様化について



いそむら 議員

**問** 都の「家庭と子供の支援員」制度はアウトリーチ型の相談などの支援制度であるが、登校支援などにも活用できる事業だと考える。現在、都内26市では何市が実施しているのか、また、本市での導入の検討については。

**答** 今年度は26市中21市が実施している。本市では、現在、スクールソーシャルワーカーが同様の支援を行っているが、引き続き、学校と家庭の連携推進事業を含め、アウトリーチ型の支援の方法を研究していく。

**問** 来年度以降も中学校において校内別室指導支援員の配置を継続してもらいたいと考える。また、併せて、小学校にも支援員の配置が必要と考えるが、見解は。

**答** 定期的なアウトリーチによる学習支援の拡充などについては、様々な支援を継続することにも、不登校児童生徒への多様な支援の在り方について、引き続き研究していく。

**答** 中学校における校内別室指導については、引き続き、人材活用の方法を含め、効果的な別室指導の在り方を研究・検討していく。小学校での実施については、中学校での取り組みや成果などを踏まえ、引き続き研究していく。

**問** 梨の実ルームや校内別室指導教室などにも通えない児童・生徒のためにも、定期的なアウトリーチによる学習支援の拡充の取り組みが必要と考えるが、見解は。

## ヤングケアラー・若者ケアラーの支援について



湯谷 議員

**問** スクリーニングデータに基づいて教師が多職種と議論し、検討するスクリーニングシステムを導入すべきであると考えている。市の考えは。

**答** 市立小中学校では現在、チェックシートなどを活用して、支援が必要な児童・生徒を早期発見し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどからの専門的な助言を受けながら、校内委員会などにおいて支援の在り方について協議し、対応している。有償のスクリーニングシステムなどを導入することについては、現時点では考えていないが、支援が必要な児童・生徒の早期発見や早期対応の取り組みについては、引き続き研究していく。

**問** こども家庭庁において推進しているサポートプランを作成し、包括的・計画的に支援することについて、市の考えは。

**答** 市では重要であると考えている。

**問** 子供が相談しやすいようGIGAスクール端末で使えるSNS相談アプリも有効な手段であると考えているが、市の認識は。

**答** 児童・生徒が、家庭や学校での悩みについて様々な相談先を確認できるよう、タブレット端末に相談先一覧のアイコンを表示しており、引き続きこちらの活用を促す。双方向でやり取りができる相談アプリの導入に限らず、児童・生徒が相談しやすい体制づくりについて引き続き研究していく。

※茶色く太字になっている用語については7面で詳しく説明しています。

# 市民生活の向上めざし

## 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業について



中島 議員

**問** 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の進捗状況は。

**答** 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の進捗状況については、3月末現在の建物移転棟数ベースで51・5%となっている。

とこの観点で、東長沼地域だけが恩恵を受ける事業ではなく、市民全体が、その恩恵を享受することができる事業であると考えているため、グルメリ跡地については、令和7年度中に事業を進めてもらえることを強く主張したうえで、稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の今後の事業計画については、

**問** グルメリ跡地の整備予定については、今後の事業展開を考慮すると、旧川崎街道の切替えや旧グルメリ跡地周辺の建物移転と一体的に整備を行う必要がある。まずは、事業に協力してもらえよう、関係権利者と移転に向けた協議を行っている。

**答** 稲城稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の今後の事業計画については、旧グルメリ跡地周辺や南口駅前広場の整備を鋭意進めるとともに、地区を南北に縦断する多3・4・14号稲城長沼駅前通り線の整備を進めていく予定である。

## 東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)と今後の計画策定について



坂田 議員

**問** 新たな整備方針の検討について、未着手となっている市内の都市計画道路については。

**答** 都道読売ランド線と川崎街道を結ぶ多3・4・4号塚戸根方線、南多摩尾根幹線から野原線、戸大橋までの多3・4・16号稲城南多摩線、鶴川街道から武蔵野南線に向かう多3・4・31号稲城駅西口線、稲城福祉センター入口交差点から川崎街道を結ぶ多3・4・15号東長沼坂浜線及び第四次事業化計画において優先整備路線に位置づけられている多3・4・36号小田良上平尾線である。

**問** 未着手の都市計画道路区域の土地所有者は、建て替えなどに一定の建築制限がかかり土地の有効利用ができなくなる課題があるが、建築行為を行う際にどのような制限がかかるのか。

**答** 市では、都市計画道路区域内で建築行為を行う場合の許可取扱基準を定めており、市街地開発事業などに支障にならないこと、建物階数が3階以下、高さが10メートル以下であり、地階を有しないこと、主要構造物が木造、鉄骨造、コンクリートブロック造、その他これに類する構造物であることなどがある。

※茶色く太字になっている用語については、面で詳しく説明しています。

## 認知症に関する正しい知識と普及啓発について



本間 議員

**問** 認知症は誰もがなり得ることを様々な機会を捉え普及啓発し、地域全体が認知症への理解を深めていくため、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援することが求められている。認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、正しい知識と普及啓発について伺う。市民向けの普及活動は。

**答** 9月のアルツハイマー月間に合わせたイベントの開催や、中央図書館の協力のもと、関連書籍の紹介を行っている。また、認知症に関して分かりやすくまとめたパンフレットである認知症ケアパスの配布や、認知症サポーター養成講座を開催するなど、普及啓発を図っている。

**問** 認知症サポーターの養成は。認知症サポーターの養成について、取り組みの成果については、地域住民に認知症高齢者への接し方が理解されたことである。期待される効果については、認知症の本人やその家族をさりげなく見守るサポーターとなってもらえることである。

**問** 認知症カフェについては。認知症カフェの取り組みの成果については、認知症の本人の意見を聞く場、また本人の希望や必要としていることなどを当事者同士で語り合い、交流する場となったことである。期待される効果については、本人や家族の体験を傾聴し、その意見やアイデアを生かした支援が行えるようになることである。



▲鶴川街道(百村区間)道路予定地の様子

## マルチハザード(複合災害)対策について



浦井 議員

**問** 市における複合災害対策は。対策がさらに強化されると考える。全ての市民が、大規模地震と風水害、そして大規模地震と感染症など、複数の災害が同時にまたは連続して発生する可能性に対する認識を深めてもらえるよう、引き続き意識啓発に取り組みしてもらいたい。そこで、防災講話などでは、複合災害に対する意識啓発として、具体的にどのような話がされているのか。

**答** 複合災害に関する稲城市災害時業務継続計画(BCCP)は、大規模災害による被害を想定したものであり、複合災害に対しても、地域防災計画との整合性を図りつつ適切に対応していく。

**問** 様々な防災のイベントや行事において、複合災害を含めた防災の意識啓発が行われていると認識している。新たな稲城市地域防災計画により、事前防災

**問** 市内の路線バスなどが減便している状況についての対策は。全国的に運転手の成り手が減少していく中で、改善基準告示の改正により、運転手の拘束時間の短縮や休憩時間の確保を遵守するため、市内の路線バス運行について現状維持が難しくなるおそれがあるとバス事業者から聞いている。こうしたことから、市では、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項について協議を行う稲城市地域公共交通会議などで、市内のバス運行について協議を行っている。

**問** バスが減って困っていると声を聞いており、公共交通の環境を、維持、改善してもらうよう市としても、粘り強く

## 公共交通について



岩佐 議員

**問** 市内の路線バスなどが減便している状況についての対策は。全国的に運転手の成り手が減少していく中で、改善基準告示の改正により、運転手の拘束時間の短縮や休憩時間の確保を遵守するため、市内の路線バス運行について現状維持が難しくなるおそれがあるとバス事業者から聞いている。こうしたことから、市では、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項について協議を行う稲城市地域公共交通会議などで、市内のバス運行について協議を行っている。

**問** 市内の路線バスなどが減便している状況についての対策は。全国的に運転手の成り手が減少していく中で、改善基準告示の改正により、運転手の拘束時間の短縮や休憩時間の確保を遵守するため、市内の路線バス運行について現状維持が難しくなるおそれがあるとバス事業者から聞いている。こうしたことから、市では、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項について協議を行う稲城市地域公共交通会議などで、市内のバス運行について協議を行っている。

**問** 住民サービスの低下につながるよう、今後稲城市地域公共交通会議などの方策について議論したい。

### 議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。

一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

#### ジャイアンツスタジアム完成に合わせた周辺道路等の整備について



土居 議員

**問** 読売ランド通りでは大雨が降るたびに、沿道住民が溢水対策を行っている。調整池と根方谷戸川の整備完了を望む声は多い。完了予定および対策は。

**答** 令和7年度末の完了を予定している。市は本整備を早期に完了させる必要性があると認識しており、一日でも早い整備に向け取り組む。本整備完了までの暫定的な雨水対策として、整備済みの区間から既存の根方谷戸川へパイパス管を接続するなど、現状での効果的な対策を考えている。

**問** よみうりランド南口駅前広場の整備計画は重要な課題である。ジャイアンツスタジアム、よみうりランドなどの玄関口として相応の整備が必要と

**答** スタジアム完成時は根方谷戸公園付近の横断歩道利用を想定している。読売ランド線と東長沼矢野口線開通時には信号機と横断歩道の設置を予定している。誘導看板に関しては事業者と協議の上設置などを検討する。

考えるが市の認識は。

**答** 「TOKYO GIANTS TOWN」構想による地域活力の向上、駅前広場の再整備、民間活力による駅前開発などの推進を図るため、用途地域を近隣商業地域に指定し、商業・業務施設などを誘導するよう計画的なまちづくりを進めている。

**問** 徒歩でスタジアムへ向かう際は読売ランド通りの横断が必要となる。安全対策および案内板の設置は。

**答** スタジアム完成時は根方谷戸公園付近の横断歩道利用を想定している。読売ランド線と東長沼矢野口線開通時には信号機と横断歩道の設置を予定している。誘導看板に関しては事業者と協議の上設置などを検討する。

#### 救急搬送におけるマイナンバーカードの活用について



鈴木 議員

**問** マイナンバーカードを医療機関・薬局で健康保険証として利用(マイナ保険証)が12月2日から本格実施した。医療機関などとの連携の仕組みは。

**答** 医療機関などを受診する際、即時にオンライン資格確認等システムと連携し、被保険者の資格情報や医療情報などが医療機関などへ提供され、初診でも、情報をスムーズに共有することが可能。

**問** マイナ保険証を救急搬送時に活用するメリットと、追加に必要な機材と、導入費用は。

**答** 総務省消防庁(以下、消防庁)が令和4年度からマイナンバーカードを活用した救急活動を行う実証実験を行っており、傷病者や家族の負担軽減、より迅速

かつ円滑な救急活動の実現などがメリットと聞いている。必要となる機材は、救急現場および救急車内でマイナンバーカードを読み込むためのカードリーダーと傷病者の情報を確認するためのタブレット端末で、一式あたりの費用は、カードリーダーが7千円から1万円、タブレット端末が30万円から40万円、ラッキングコストが年間6万円から10万円と聞いている。

**問** 救急搬送の迅速化・円滑化に向けてマイナンバーカードを大いに活用するべきだが。

**答** 消防庁では、令和7年度以降に全国展開を推進する方針と聞いており、市でも実証実験に参画した救急隊からの意見をもとに、一層の情報収集に努める。

#### 障がいのある市民の不便さ、生きづらさを解消するための取り組みについて



佐藤 議員

**問** 市役所第一駐車場における障害者専用駐車場の利用について、障害者専用駐車場を健常者も利用できる場合については。

**答** 市役所第一駐車場には障害者用の区画が2台分あるが、満車時の滞留車両によるトラブルなどを抑止するための対応として、短時間に限り認めている。

**問** 障害者専用駐車場がより一層適正に利用されるよう、これからその推進に努めていただきたいと考えるが、市の認識は。

**答** 駐車場の安全性を確保しつつ、おおむね適正な利用がなされているものと認識している。今後も、適正な利用が図られるよう、適切な管理に努める。

**問** 障害者専用駐車場の区画には、「障害者等優先スペース」と

いう掲示物が設置されており、運営実態との齟齬などが生じている状況にあると思う。運用実態に即した状況とするため、当該掲示物は撤去すべきではないか。それとあわせて、当該区画が障害者専用駐車場であることを示し、一般スペースに空きがない場合は、第二・第三駐車場の利用をお願いする旨の掲示物を設置する。そうすることにより、専用と優先を混同しているような状況が解消され、適正な利用がさらに推進されると考えるが、市の見解は。

**答** 現在のところ、駐車場の適正利用が図られるものと考えているが、掲示物の設置方法などについては、今後、対応を検討したい。

#### 核兵器の廃絶により被爆者を二度とつみださない世界をつくらせていくために



山岸 議員

**問** 日本原水爆被害者団体協議会(以下、日本被団協)のノーベル平和賞受賞は、驚きと喜びをもって受け止められ、市内にも団体の運動を牽引してきた市民がいる。市教育委員会としてこれまで行ってきた取り組みは。

**答** 核兵器廃絶に限定せず、市立公民館で戦争や平和をテーマとした講座の開催、市立図書館で戦争に関する本を集めた展示コーナーの開設などしている。

**問** 今年度(令和7年度)に開催、また今後予定している講座の回数や内容、学校における取り組みは。

**答** 公民館主催講座を開催し、講座の中で戦争と平和に触れた内容となっている。学校にお

ける取り組みは、中学校社会科の「世界平和と人類の福祉の増大」の学習において、「核兵器などの脅威に触れ、戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育成するように配慮すること」という内容に基づき学習している。また、児童・生徒が被爆者の講演などを聞く取り組みは、稲城第三小学校、稲城第六小学校において、胎内被爆者による原爆の脅威などに関する講演会を年度内に実施する予定である。

**問** 日本被団協のノーベル平和賞受賞について、市長の所感は。

**答** 被爆者の立場から核兵器のない世界の実現に向けた長年にわたる努力が評価されたものであると認識している。

#### 長峰中央通りでの諸課題について



つのだ 議員

**問** 長峰中央通りでは、子供の飛び出し事故などを懸念し、安全対策を望む声がある。また、南多摩尾根幹線道路の夜間工事による迂回路として多くのトラックなどが走行するため、騒音問題も発生している。長峰中央通りの横断歩道沿いの看板設置の現状については。

**答** 市では、車両運転者に対して効果的と思われる箇所に「歩行者に注意」や「飛び出し注意」などの多くの注意喚起看板を設置している。

**問** 南多摩尾根幹線道路における夜間工事による、長峰中央通りを迂回路とすることについて現状と課題については。

**答** 東京電力では、当初、迂回路として若葉台方面より長峰二

丁自交差点を右折後、杜の四番街西交差点を左折し長峰中央通りを通行するルートに車両を誘導していたが、騒音などに対する多くの申し出があったことから、長峰二丁自交差点を右折後、上谷戸大橋北交差点を左折し、上谷戸大橋通りを通行するルートに変更した。しかし、変更後も、周辺住民から生活道路を迂回路としないよう強い要望があったため、対応について調整するよう、市からも東京電力に申し出を行っている。

**問** 南多摩尾根幹線道路における夜間工事のスケジュールについては。

**答** 令和7年3月までのスケジュールで工事を予定していると東京電力より聞いている。



▲長峰中央通りに設置されている注意喚起看板

用語の説明

本文中の太文字の説明です。

【高度利用】…都市計画法で定められている都市計画のひとつで、高い建物を建てて周辺の土地を有効活用すること。【ウェルビーイング】…個人の心身と社会がともに満たされた状態(よい状態)を表す概念。1946年、WHO(世界保健機関)が健康の定義として「健康とは、病気ではないと

か、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてがよい状態にあることをいいます。」と、この言葉を用いて紹介したことで世界に広まった。【スクリーニング】…すべての児童生徒を対象として、表面化しにくい問題(児童虐待、いじめ、貧困など)の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要

な児童生徒や家庭を適切な支援に繋ぐための迅速な識別。【GIGAスクール】…全国の児童生徒1人1台のパソコンやタブレットなどの情報端末を配備し、情報通信技術を取り入れた新たな教育を実現する文部科学省が始めた取り組み。【改善基準告示】…自動車運転者の労働時間等の改善のための基準のこと。

現行の健康保険証が発行されなくなる



武田 議員

問 12月2日から現行の健康保険証が新規で発行されなくなり、資格確認書や資格情報のお知らせの送付なども必要になる。被保険者が迷わないよう、制度の確認および対応策が重要と考えられるが、資格確認書を申請しなければ交付されない場合は、

答 マイナ保険証の利用が何らかの理由でできない場合、資格確認書の交付申請をしてもらうこととなる。

問 マイナ保険証の利用ができない何らかの理由とは、具体的にどのようなことがあるのか。答 稲城市国民健康保険において資格確認書の交付申請が必要となる場合は、マイナ保険証を保有しているにもかかわらず、マイナ保険証を利用することが困難な要介護の高齢者や障害のある方などが資格確認書を希望する場合、利用登録を解除する必要はなく、申請により資格確認書を交付する。

困難な要介護の高齢者や障害のある方などが交付を希望する場合、マイナンバーカードを紛失してマイナ保険証が利用できない場合、新規加入者が資格確認書を必要とする場合などとなる。問 マイナ保険証を保有しているにもかかわらず、マイナ保険証を利用することが困難な要介護の高齢者や障害のある方などが資格確認書を希望する場合、マイナ保険証を解除する必要が

路線バス・iバスの維持・拡充について



岡田 議員

問 地域公共交通として、市内路線バスを令和6年3月以前の便数に戻し、今後路線バス・iバスが減便とならないよう、事業者に求めるべきと考えるが、改めて認識は。

答 深刻な運転手不足に伴う要員確保や処遇改善に向け、様々な対策を講じているが、問題は解消されていないと聞いている。路線バス事業者は、「コミュニティバスを削減しても路線バスを維持していく方針で、周辺市を含め、多くのコミュニティバス

の路線の減便や廃止の申入れがなされている。市では減便や廃止の影響が少なくなるよう、稲城市地域公共交通会議などで協議していく。

問 路線バス・iバスの減便な

どについての申し入れ内容は。答 改善基準告示を遵守する必要があるため、令和6年3月にダイヤ改正を行い、本業の路線バスの運行本数の削減を行った。人的輸送資源の有効活用を図り、路線バスの運行を確保するために、コミュニティバスの運行も見直しを行わざるを得ない状況とのことであった。

問 申入れ時期およびiバスの見直しの具体的な内容は。答 時期は、令和6年6月および10月である。内容は、iバスと路線バスが重複するコースの見直し、運行時間の短縮などによる路線網のコンパクト化や乗務時間のスリム化などを求めるものが主な内容である。

自転車に関する道路交通法の改正について



角田 議員

問 自転車運転中の携帯電話使用などに起因する交通事故が増加傾向にあることおよび自転車を酒気帯び状態で運転した際の交通事故が死亡・重傷事故となる割合が高いことから、交通事故を抑制するため、新しく罰則規定が整備された。11月1日に改正された道路交通法の概要については。

答 自転車運転する場合において、スマートフォンなどを手に持ち、通話をしながらの運転や、画面を操作または注視しながら運転する行為が禁止され、新たに罰則の対象となった。また、自転車運転者本人による酒気帯び運転のほか、自転車運転者に対して酒類を提供する行為、酒気を帯びている者への自転車

提供行為等に対して罰則が整備された。

問 市民への周知方法については。答 市ホームページおよびメール配信サービスのほか、各種交通安全啓発活動を通じて、市民への周知に努めている。

問 法改正に伴う市の交通安全啓発活動については。答 多摩中央警察署や多摩稲城交通安全協会と連携し、市内交差点や駅前などの交通安全キャンペーンや、中学校での自転車教室、「いのちのまちいなぎ市民まつり」における交通安全市民のつどいなどにおいて、多くの市民に対して交通安全啓発活動を実施し、本法律改正の周知に努めている。

小中学校のトイレに生理用品を常備することについて



田島 議員

問 私のもとに市民から様々な意見が届いている。「子供が高校に行き始めて、トイレに生理用品が置いてあるのが分かって、どうして中学校にはなかったんだらうと子供が言っていた。」や、「トイレに置く生理用品は緊急のものなのだから、最も安価なものでいいはずだ。そうすれば低コストでできる。」など、市民の自由な声は、それぞれの発想でいろいろなアイデアを与えてくれ、多くの市民がトイレに生理用品を置くことを望んでいることが分かる。生理用品をトイレに置くことで、困ったときに生徒が生理用品に安心してアクセスできるようにすることが重要なことであると考えているが、市の認識は。

答 生理用品を学校のトイレに置くことについて、学校では、児童・生徒の求めに応じていつでも渡せるように保健室に常備していることから、現在の対応について教育委員会では課題はないものと認識している。

問 個包装の生理用品をトイレに置くことは衛生的には問題ないと考えるが、市の認識は。答 衛生的に常備するためには、学校において一定の管理は必要になるものと認識している。

問 学校として必要な管理体制が取れるなら、衛生面での課題はないと考えるが、市の認識は。答 生理用品の置き場所については、各学校がそれぞれの状況に応じて適切な場所に設置するものと考えている。

正副議長公務日誌

稲城市防災訓練 (令和6年11月3日)

稲城第六中学校で開催され、市議会として、参集訓練を行い、地域防災力の一翼を担うオール市議会で臨みました。また、防災訓練には、国会議員や都議会議員も参加されました。



南多摩市議会議長会 議長研修会 (令和6年11月18日)

八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の5市の議長がメンバーとなっている議長会で研修を行いました。今回は、「日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設」と「子ども包括支援センター みらいく」を視察しました。



二十歳の式典 (令和7年1月13日)

よみうりランドのオーロラスペースで盛大に開催され、二十歳のみなさんに向けてお祝いのメッセージを贈りました。みなさん、袴や振袖、スーツなど思い思いの服装で参加され、とても輝いていて素敵でした。



議決結果		稲志会					新政会			公明党		日本共産党			改革未来の会			無所属			賛成	反対				
		川村あや	北浜けんいち	中田中	鈴木誠	土居のりひろ	中島健介	渡辺力	角田政信	池田英司	坂田たけふみ	つのじ寛美	佐藤しんじ	湯谷ひろし	岡田まなぶ	山岸太一	田島きく子	榎本久春	岩佐ゆきひろ	いそむらあきこ			村上洋子	武田まさひと	梶浦みさこ	
<b>令和6年第4回定例会での審議結果 (令和6年11月26日～12月16日)</b>																										
<b>条例</b>																										
第62号	稲城市個人番号及び特定個人情報の利用に関する条例の一部を改正する条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
第63号	稲城市情報通信技術を活用した行政の事務等の推進に関する条例の一部を改正する条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
第64号	稲城市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
第65号	稲城市市税条例の一部を改正する条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
第66号	稲城市手数料条例の一部を改正する条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	
第67号	稲城市公共施設駐車場の管理等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	16	5
第68号	稲城市下水道条例の一部を改正する条例	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
<b>補正予算</b>																										
第69号	令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第6号)	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第70号	令和6年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第71号	令和6年度東京都稲城市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第72号	令和6年度東京都稲城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第73号	令和6年度東京都稲城市下水道事業会計補正予算(第1号)	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第74号	令和6年度東京都稲城市病院事業会計補正予算(第1号)	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
<b>その他</b>																										
第75号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第5号))	承	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第76号	専決処分の承認を求めることについて(訴えの提起について)	承	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第77号	稲城市道路線の認定について(稲城南山東部土地区画整理事業関係・7路線)	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第78号	稲城市道路線の廃止について	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
第79号	稲城市道路線の廃止について	可	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0

可 議決  
 否 議決  
 承 承認  
 議 議長  
 欠 欠席

(稲城市議会議員 条例定数22人 現員22人)

**北浜 けんいち**  
 議長/稲志会  
 2度目の議長職を務め、任期は5月までとなります。市民に信頼される議会を目指して頑張ります。

**議員22人に聞きました**  
 Q.2025年の抱負を聞かせてください!

**坂田 たけふみ**  
 副議長/新政会  
 健康第一。規則正しい生活で、自己免疫力を高め、病気や怪我をせず、充実した1年にしたいです。

**川村 あや**  
 稲志会  
 積土成山を心に留めました。日々の積み重ねを大切に、後の成果に結び付けられるように励みます。

**中田 中**  
 稲志会  
 自分の思いに正直に生きること、そして現状に満足することなく新しいことに挑戦し続けること。

**鈴木 誠**  
 稲志会  
 為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり  
 何かとあれこれ理由を付けて諦めるのではなく、何をすべきか、何なら出来るのか。初志に立ち返ります。

**土居 のりひろ**  
 稲志会  
 「われただ足るを知る」心の豊かさを磨く一年とします。  
 吾唯知足

**中島 健介**  
 稲志会  
 新しい挑戦を恐れず、何事にも前向きな姿勢で取り組む。家族との時間を大事にする。

**渡辺 力**  
 新政会  
 革新、循環、仲間、助け合い、横のつながりを大切に、2025年の幸せをシェアしあえるように。

**角田 政信**  
 新政会  
 気付けば最年長議員、後輩も出た。改めて初心を忘れず地域の為に健康第一で元気に頑張ります。

**池田 英司**  
 新政会  
 元気力増進のため、身体の再生に励み初心忘るべからずの精神で邁進します。

**つのじ 寛美**  
 公明党  
 小さな声に耳を傾け、地域の発展と住み良い街づくりに全力で取り組んで参ります。

**佐藤 しんじ**  
 公明党  
 本年、私は55歳になります。55にちなみ、GOGOと、何事にも果敢に取り組んで参ります。

**榎本 久春**  
 改革未来の会  
**尽力奉公**  
 力を尽くして市民や地域社会に貢献することを目標に頑張ります。

**岡田 まなぶ**  
 日本共産党  
 日々の暮らしに欠かせない公共交通として、路線バス、iバスを維持していけるように力を尽くす。

**山岸 太一**  
 日本共産党  
 料理のレパートリーを増やしたいです。

**田島 きく子**  
 日本共産党  
 今年は戦争が終わって80年。この節目の年に改めて、平和憲法と民主主義を守るために頑張ります。

**湯谷 ひろし**  
 公明党  
 本年は、防災・減災対策、福祉の増進、安心して暮らせるまちづくりの取組に力を入れて参ります!

**岩佐 ゆきひろ**  
 改革未来の会  
 今年も出会いを大切に、駅に立つての活動等、出来るだけ沢山の声を聞いていけるよう頑張ります!

**いそむらあきこ**  
 改革未来の会  
 多くの人との出会いや対話を大切に、『みんなに優しいまち』を皆様と共に育んでまいります。

**村上 洋子**  
 無所属  
 公約のオーガニック給食と子どもの権利の推進のため任期後半にやるべき事を絞り込み頑張ります!

**武田 まさひと**  
 無所属  
 稲城市の魅力である環境を保全・次世代への継承。また、市内の商店街の活性化・充実を図る。

**梶浦 みさこ**  
 無所属  
 市民の皆様から稲城市での暮らしやお考えなど、今年もたくさんお話を伺いたいと思っています!